

# 本 会 記 事

## 1. 平成4年度総会並びに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の平成4年度総会並びに研究発表会は、約150名が参加して、11月17、18の両日、善通寺市市民会館で開催された

### 1) 総 会

17日午後1時から開催され、平成3年度庶務報告、編集報告、会計報告および会計監査報告が承認された後、平成4年度の事業計画、編集計画、予算および役員改選に関する諸案が上程され、承認された。役員改選では、徳島県及び高知県の評議員をそれぞれ2名から3名とすることが議決された。なお、平成4年度の新役員には次の諸氏が選出された。

【会長】吉田 堯 【副会長】井上 斉、日和田太郎 【評議員】加々美好信、金磯泰雄、山本弘幸、都崎芳久、十河和博、石田典兄、上森 実、橘 泰宣、古谷眞二、高井幹夫、岡田忠虎、山本孝彦、日本バイエルアグロケム(株)、日産化学(株)、三共(株) 【会計監査】金磯泰雄、徳島県経済連 【庶務幹事】山本孝彦、妹尾芳江 【会計幹事】岩崎真人 【編集委員】岡田忠虎、谷 利一、岡本秀俊、平野千里、大口富三、古谷眞二、高井幹夫、山本孝彦、大泰司誠、岩崎真人

### 2) 研究発表

17日午後1時4分から18日11時50分まで、つぎの11題の講演が行われた。

#### 1. 金崎秀司(愛媛農試)

愛媛県におけるワタアブラムシの薬剤感受性の現状

#### 2. 喜田直康・中野昭雄(徳島農試)

不織布マルチに幼若ホルモン剤を処理することによるナスのミナミキイロアザミウマの防除

#### 3. 白井英治(香川病害虫防)・川原清剛(香川綾歌農改)・宮下武則(香川病害虫防)

香川県におけるBLASTAMの適合性

#### 4. 谷口京子・青木一彦・大植美香・坂東康成(徳島病害虫防)

徳島県における稲こうじ病の発生生態

#### 5. 竹内繁治(高知農技セ)

高知県の露地栽培トウガラシ類に発生するウィルス病

#### 6. 楠 幹生(香川農試)

イチゴ炭そ病の総合防除について

#### 7. 奈尾雅浩(愛媛農試)

イチゴ炭そ病に対する抵抗性発現に及ぼす有害接種の影響

#### 8. 森田泰彰(高知農技セ)

シンシ斑点病菌による株枯れ症状

#### 9. 上田 進(愛媛経済連農技セ)

愛媛県の新しい花で発生した病害について(1)

#### 10. 和氣坂成一・村井 啓・安富範雄・後藤武司・田中 晃(大塚化学鳴門研)

オレイン酸ナトリウム液剤のタバココナジラミに対する効果

#### 11. 石渡武敏・代野喜彦・亀井正治(アース・バイオケミカル)・山崎雅則(大同商事)

粘着バンド(カミキリホイホイR)を用いたスギカミキリの防除

### 3) 特別講演

17日午後3時10分から5時まで、香川県病害虫防除所都崎芳久所長による「香川県におけるマイコプラズマ病の発生」、香川大学農学部市川俊英教授による「オリーブアナアキゾウムシ成虫の生態」の講演が行われた。

### 4) 協 議

18日9時から10時まで、平成4年度の病害虫発生の特徴とその対策並びに防除上の問題点について、徳島県：広田恵介、香川県：衣川 勝、愛媛県：石田典兄、高知県：高橋尚之の各氏より報告が行われた。

## 2. 次年度大会

平成5年度総会および研究発表は、平成5年11月に徳島県において開催されることが決められた。